

令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書

制作団体名	公益財団法人 関西フィルハーモニー管弦楽団
公演団体名	関西フィルハーモニー管弦楽団

内容

下記の①、②、のうち、どちらかを選んでいただきます。

①創作ワークショップ(1～2クラス程度に対し、90分～100分程度)

本公演のプログラムにある曲を題材に、子供達の発想力を引き出し、主体的に音楽を作っていくお手伝いをします。グループワークでの創作・演奏・鑑賞を通して、子供達のコミュニケーション能力を高め、ワークショップ終了後には本公演の曲に対する深い理解が生まれる工夫をしています。

例:本公演曲から外山雄三作曲「管弦楽のためのラプソディ」を題材とした場合

「管弦楽のためのラプソディ」はわらべ歌や民謡をふんだんに取り入れた曲です。力強いリズム、わらべ歌、哀愁を帯びた民謡、祭りの音楽など、様々な要素が含まれています。さらに、わらべ歌や民謡の中には同じ構成音から作られているものが多く、曲中には、「あんたがたどこさ」と「ソーラン節」、「炭坑節」を同時に演奏するという手法が取り入れられています。ワークショップでは、「海外の人に、日本を紹介する曲を作ろう。」として、グループごとにわらべ歌、静かな「間」を感じる情景の音楽、民謡を基にした音楽を創作していきます。互いに発表したあと、わらべ歌と民謡を同時に演奏する手法を取り入れながら、全体をつないで一つの作品にします。最後に楽員によるラプソディの演奏を聴き、曲に対する理解を深めます。

これまでの経験則に基いて、創作ワークショップでは1～2クラス程度での実施としております。講師1人あたり児童生徒10名程の実施(最大50名程)が最も効果的と考えていますが、小学校全学年100名程で行った実績もあります。

②ミニコンサート型ワークショップ(全校生徒に対し90分程度)

弦楽器奏者・木管楽器奏者・金管楽器奏者・打楽器奏者から成る3名～5名のアンサンブルでの演奏を楽しみながら、「楽器体験や指揮体験」、「手拍子や打楽器演奏での共演」などのプログラムも取り入れた内容となっています。



【企画例】

- ♪弦楽四重奏…ヴァイオリン2名、ヴィオラ、チェロのアンサンブル。
 - ♪木管五重奏…フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴットの4種の木管楽器に、ホルンを加えたアンサンブル。
 - ♪金管五重奏…トランペット2名、ホルン、トロンボーン、チューバ(またはバストロンボーン)のアンサンブル。
 - ♪混合五重奏…弦楽器・木管楽器・金管楽器・打楽器奏者から成る5名でのアンサンブル。
例:オーボエ、クラリネット、トランペット、チェロ、打楽器…など。
 - ♪打楽器アンサンブル…打楽器奏者3名、管楽器奏者1名、ピアノ奏者1名で、学校にある身近な楽器を用いながら演奏を行います。
- ※上記アンサンブルは一例で、学校の要望に合わせて様々な編成での演奏が可能です。

アンサンブルの名曲や、児童の皆さんが親しみやすい曲を演奏し、楽器の特徴や音の出る仕組みを説明するなど、お話を交えてわかりやすい内容としております。また、簡単なリズム遊び・楽器体験・指揮者体験などの要素を交え、オーケストラ公演に興味を持ってもらうようにしております。「90分全学年通し型」「前半45分は1～3年生、後半45分は4～6年生」など、要望に応じてワークショップを実施します。

●演奏指導、楽器クリニックの実施

本公演で吹奏楽部等の音楽系クラブと共演する場合は、ミニコンサートの後に該当児童・生徒を対象とし、演奏指導を行います。共演内容によって、なるべく的確な実技指導が出来るように工夫しています。



例：金管バンドと共演する場合は金管五重奏を派遣等。

単なる演奏指導だけではなく、児童生徒とのコミュニケーションを大切にし、合奏の楽しさを感じてもらえるように努めております。

タイムスケジュール（標準）

●3・4 時間目での実施例

※小学校において、1～3年生を3時間目・4～6年生を4時間目に行くと仮定する。

到着	リハーサル及び先生との 本公演打ち合わせ	ワークショップ 1～3年生	ワークショップ 4～6年生	先生との 本公演打ち合わせ	退出
9:00	9:00～10:30	10:45～11:30	11:35～12:20	12:30～13:00	13:30

●5 時間目・放課後での実施例

※小学校において、全学年対象に6時間目にワークショップを行い、放課後に音楽系クラブを対象に実技指導を行うと仮定する。

到着	リハーサル及び先生との 本公演打ち合わせ	ワークショップ 全学年	音楽系クラブ 実技指導	先生との 本公演打ち合わせ	退出
13:00	13:00～14:30	14:40～15:25	放課後～17:00頃	～18:00	18:00

上記はあくまで例となります。

児童・生徒・先生方のご都合や、地理的・時間的な都合など総合的に判断した上で、ご提案・ご相談させていただきます。

派遣者数

●演奏者 1～5名（※内容によって人数が異なります。）

●スタッフ 1名

学校における事前指導

ワークショップでは、本公演で実際に聴く事が出来る様々なオーケストラの楽器について学習します。

事前に映像資料等で学習していただくと、ワークショップがより効果的な物となります。

また本公演と一緒に共演をしていただく「校歌」におきましては、「綺麗な声・大きな声で歌う」だけでなく、歌詞の意味についても掘り下げていただき学習をしていただくと、より意義のあるものとなります。

上記を先生方をお願いしております。

令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

本公演実施計画書

制作団体名	公益財団法人 関西フィルハーモニー管弦楽団
公演団体名	関西フィルハーモニー管弦楽団

演目

Enjoy Discovering the Orchestra!

「楽しみながらオーケストラの魅力を発見しよう」

楽しい音楽会へようこそ ～胸踊るオーケストラサウンドでさあ幕開け！～

1. ロッシーニ: 歌劇「ウィリアム・テル」序曲 より“スイス軍の行進”

【オーケストラを彩る楽器の紹介】

～グループごとの楽器紹介を交え、それぞれの楽器の音色・響きが最も活かされる曲を演奏します～

【弦楽器紹介】音楽史上最も有名な弦楽オーケストラの作品

2. モーツァルト: 「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」より“第1楽章”

【木管楽器紹介】耳に残る暖かい木管楽器の響きを…

3. チャイコフスキー: バレエ音楽「白鳥の湖」より“4羽の白鳥の踊り”

【金管・打楽器紹介】管楽器の大迫力サウンド! 打楽器も大活躍!

4. ジョン・ウィリアムズ: 映画「スターウォーズ」より“ダース・ベイダーのテーマ”

【ハープ紹介】ハープのカデンツァに導かれた華やかで可憐なワルツ

5. チャイコフスキー: バレエ音楽「くるみ割り人形」より“花のワルツ”



～～～～～休憩 15 分～～～～～

冒頭の強烈なビート。苦悩を超越して作曲された大傑作

6. ベートーヴェン: 交響曲第5番「運命」より“第1楽章”

[小学校用プログラム]手を叩いてリズムの体験

7. ピアソン: ヒップ・リップスII ～オーケストラと一緒に演奏しよう!～

[中学校用プログラム]あなたもソリストに!

7. アンダーソン: サンドペーパー・バレエ ～紙やすりで演奏? ソリストコーナー!～

色彩感と迫力溢れる民謡で、日本の心を感じよう

8 外山雄三: 管弦楽のためのラプソディ

=====最後はみんなで一緒に演奏しよう！=====

オーケストラと一緒に歌おう！奏ですよ！

9. 共演曲(自由曲)

学校様ご希望の曲を、関西フィルオリジナル編曲で児童・生徒の皆様と共演します。
合唱曲だけではなく、ご希望により吹奏楽部等の音楽系クラブとの夢の共演が実現！！

オーケストラと一緒に校歌を歌おう！

10. 共演曲(校歌)

関西フィルオリジナル編曲で、校歌が世界に一つのオーケストラバージョンに変身！
学校の先生の指揮で感動のフィナーレへ！(児童・生徒の指揮も可)

公演時間(95分)

派遣者数

◆出演者:63名

指揮者:1名
司会者:1名
演奏者:61名(10型2管編成)

◆スタッフ:7名

楽団代表者:1名
公演担当者:1名
ステージマネージャー:1名
編曲者:1名
搬出入アルバイトスタッフ:3名

合計:70名

タイムスケジュール(標準)

前日仕込み(有(無)) 会場設営の所要時間(1.5~2時間程度)

到着	仕込み	リハーサル	本公演	内休憩	撤去	退出
9:00	9:00~10:30	11:30~12:00	13:30~15:10	15分	15:10~17:00	17:00

※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。

※会場条件によって仕込み・撤去時間が増減する場合があります。

※公演終了後、機材搬出が完全に終わるまでは安全確保のため、部活動等体育館の使用を制限させていただきます。

公演当日朝は、担当の先生と公演の最終打ち合わせをします。

音楽系クラブ等との共演がある場合は、公演当日のリハーサルで合わせ、最終確認します。

リハーサル時間の設定は、なるべく2校時に渡らないように担当の先生と調整します。

また、校歌指揮の先生(もしくは生徒)もリハーサルに参加が必要です。

実施校への協力依頼人員

●前日までの会場準備

前日に体育館の会場準備をお願いいたします。(パイプ椅子・フロアシートなど)

●搬入・搬出時の安全管理

搬入・搬出時は大型楽器を専門スタッフが運ぶため、危険が伴います。

よって、児童・生徒が搬入出導線やトラックの付近を通る際は、必ず先生が付いていただくようお願いいたします。

●控室のご準備

演奏者が使用させていただく部屋をご準備をお願いいたします。(食事や着替えに使用する机や椅子)

演目解説

●胸躍るオーケストラサウンドで演奏会の幕開け♪

・ロッシニー:歌劇「ウイリアム・テル」序曲 より“スイス軍の行進”

高らかに歌われるトランペット・ホルン・ティンパニのファンファーレに導き出され、演奏会が幕開けます。華やかな行進曲で、これから始まる演奏会への期待を高めます。

●楽器紹介コーナー ※それぞれの楽器群が最も効果的に使われる曲を演奏します。

単なる楽器の名前や特徴の紹介に留まらず、各楽器群がオーケストラの中で、どのようにその個性を発揮しているかを、個々の楽器を紹介した後、実際の曲の演奏の中でお伝えします。

・モーツァルト:「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」より“第1楽章”

最も有名な弦楽合奏曲のひとつであるモーツァルトの傑作を、弦4部に分かれて紹介します。

・チャイコフスキー:バレエ音楽「白鳥の湖」より“4羽の白鳥の踊り”

木管楽器が活躍する、とてもチャーミングな曲です。

・ジョン・ウィリアムズ:映画「スターウォーズ」より“ダース・ベイダーのテーマ”

世代を超えて大人気の映画から、金管楽器・打楽器が活躍する大迫力の曲をお届けします。

・チャイコフスキー:バレエ音楽「くるみ割り人形」より“花のワルツ”

ハープの紹介をいたします。前半を締めくくりにふさわしい華やかな、そして瞬時にとおどきの国に連れて行ってくれそうな夢のある曲です。

●後半のオープニングはインパクトのある「運命」で！

・ベートーヴェン:交響曲第5番「運命」より“第1楽章”

「ジャジャジャジャー」で始まる「運命のテーマ」が印象的なこの曲は、最も有名な交響曲といっても過言ではありません。ベートーヴェンが自身の苦悩を超越して作曲したこの曲で、オーケストラの魅力を存分にお伝えします。

●一体感のある、生徒全員が満足できる公演

小学校プログラムで行うリズム体験コーナー「ヒップ・リップスII」は、演奏者2名が先導し、鑑賞の生徒全員に手拍子で演奏に参加していただきます。リズム打ちを通してオーケストラとの一体感を体感することで、よりオーケストラを身近に感じることができます。

●「ソリスト」としてオーケストラの前で演奏

中学校プログラムで取り上げる「サンドペーパー・バレエ」は、“紙やすり”で数名の生徒に「ソリスト」として演奏に参加していただきます。身近にある紙やすりが楽器になる事を体験・鑑賞できるだけでなく、実際にオーケストラの前で「ソリスト」として演奏する体験をしていただきます。

●和楽器を取り入れた、日本人作曲家の名曲

・外山雄三:管弦楽のためのラプソディ

日本が世界に誇る作曲家、外山雄三氏の「管弦楽のためのラプソディ」は、わらべ歌や民謡のメロディがいくつも連なった名曲です。締太鼓や拍子木などの和楽器も取り入れた現代音楽を代表するこの作品は、次世代の文化の担い手である児童・生徒の皆さんに新鮮な驚きと感動をもたらすことでしょう。

●オリジナルの編曲でオーケストラとの共演♪ ～忘れられない音楽体験の実現～

吹奏楽部や金管バンドだけでなく、合唱部、ダンス部、弦楽部、邦楽部、軽音楽部 etc…音楽系クラブであればどんなクラブでも、オリジナル編曲によってオーケストラとの共演が可能です。本公演当日にはリハーサル時間を十分に設ける事で、単なる練習だけではなくオーケストラ楽員とのコミュニケーションを図っています。また、プログラム最後のオーケストラオリジナル伴奏による校歌全校合唱では、先生や生徒に指揮をして頂く事で、客席との一体感をより高め、忘れられない公演を実現しています。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

●手拍子での演奏参加

小学校プログラムの「ヒップ・リップスⅡ」では、オーケストラと生徒がひとつになって音楽を創るという体験が出来るよう、『全員が手拍子で参加できるコーナー』を設けています。参加型のリズム体験コーナーは、ひとつの公演の進行の中で児童・生徒の気分転換となり、その後の演目において集中力を持続させることに効果的です。またオーケストラと一緒に演奏する楽しさ、皆で時間を共有する感動は、音楽を好きになるひとつのきっかけになるでしょう。

●ソリストとして演奏参加

中学校プログラムの「サンドペーパー・バレエ」では、紙やすりを用いてオーケストラの前でソリストとして共演していただきます。また、ソリスト以外の生徒さんも手を用いてリズム共演を行います。

●吹奏楽部・合唱部、他の音楽系クラブなどとの共演を、学校側の要望に沿って実施

共演曲目は先生方と相談の上決定します。

※編曲元となるピアノ伴奏譜や、吹奏楽譜等は学校さんにご準備いただき、それを元にオーケストラと共演出来るように編曲いたします。

吹奏楽部と共演する際は楽器のパートごとに当楽団奏者と隣同士になって演奏します。

まさにオーケストラと一体となった共演を実現！※ご希望により、事前のワークショップで指導します。

【最近の主な演奏実績】

- ♪音楽部[箏]との共演（荒井由実「やさしさに包まれたなら」）＜2014年＞
- ♪管弦楽部との共演（モーツァルト：歌劇「後宮からの逃走」序曲）＜2015年＞
- ♪トーンチャイムとの共演（岡野貞一：ふるさと）＜2016年＞
- ♪和太鼓部との共演（オーケストラとの共演のために「作曲」）＜2017年＞
- ♪リコーダーとの共演（葉加瀬太郎：情熱大陸のテーマ）＜2018年＞
- ♪音楽部との共演・及びオリジナルの歌詞作成（エルガー：威風堂々）＜2018年＞

●お気に入りの歌を、オーケストラ伴奏にのって生徒全員で合唱。

吹奏楽部・合唱部がない場合でも、生徒全員での合唱で共演可能。

クラシックの合唱曲はもちろん、ジャンルを問わず希望曲をオーケストラ用に編曲します。

【最近の主な演奏実績】

- ♪中川ひろたか：世界中の子どもたちが（全校合唱）＜2016年＞
- ♪星野源：恋（全校合唱、全校ダンス）＜2017年＞
- ♪AKB48：365日の紙飛行機（全校合唱）＜2018年＞
- ♪米津玄師：パプリカ（全校合唱、全校ダンス）＜2019年＞

●オーケストラの伴奏で、校歌を歌おう。

校歌を、要望に応じた形でオーケストラに編曲、先生または生徒の指揮で校歌を演奏。

演奏会の最後は、先生・生徒の指揮のもと、関西フィルと共に校歌を声高らかに歌って、感動的なフィナーレを迎えます。

●歌詞カード作成の提案

全校で合唱可能な曲の場合、低学年には歌詞を覚えるのが難しい場合があります。

状況・ご要望におうじて歌詞カードを作成し、演奏の際に「見る事が出来る位置」に拡大して貼り付ける等の工夫を行っております。

児童生徒とのふれあい

演奏時以外も各々が積極的に「おはよう！」「こんにちわ！」など、声かけを欠かさず行っております。

音楽系クラブと共演がある場合は、昼休みなどの空き時間に実技指導を行います。

限られた時間でなるべく充実した指導を行うためにも、ワークショップで個人個人に合わせて課題を与えます。